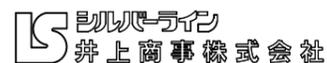


耐震構造用 EXP. J. C キーブランチ		S=1: ***	① **と** (***)	SL- ***	S=1: **								
<p>■耐震構造用 EXP. J. C 特記仕様</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>エラストマー EXP. J. C</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□JSSI(一社 日本免震構造協会)発行の「免震エキスパンションガイドライン」に規定されている振動台試験(速度100cm/s以上)において、A種の性能を有するものとする。</li> <li>□クリアランスに誤差が生じた場合においても、その誤差を吸収しかつ意匠性を確保し、可動性能を維持できるものとする。(±10mmの誤差を吸収できるものとする。)</li> <li>□エラストマー本体とフレームは嵌め合い方式とし可動時に外れないことを考慮したものであること。</li> <li>□エラストマー本体は、山・谷の形状みより、ストレートラインが保持でき、膨れ・脈打ちなどの現象が少ないこと。</li> <li>□ジョイント部においては、エラストマー本体の山・谷の連続性を確保するためのジョイント方法であること。</li> <li>□屋根エキスパンションジョイントの止水補助シートと外壁エラストマーEXP. J. Cの止水補助シートが連続した一体型止水構造であること。</li> <li>□天井、軒天などの水平面に対し加熱試験を行い熱伸びによる耐熱性能の検証しダレがなく元の形状に戻ることを確認されたものであること。</li> <li>□促進耐候性試験・温冷繰り返し試験・塩水噴霧複合サイクル試験・耐候性試験・耐オゾン試験を実施したものであること。</li> <li>□積載試験を実施し、強風に対してもその性能を保持できることを検証されたものとする。</li> </ul> </td> <td> <table border="1"> <tr> <td>CL</td> <td>可動量 X + ***mm、- ***mm</td> </tr> <tr> <td>***mm</td> <td>可動量 Y + ***mm、- ***mm</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td> <p>アルミ ステンレス EXP. J. C</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□屋根EXP. Jの可動フタは可動タイプとし、Y方向の可動にも追従できるものとする。</li> <li>□床のEXP. J. Cは集中荷重とし、指定された荷重条件を保持できるものとする。</li> <li>□耐火帯は日本エキスパンションジョイント工業会の適合証を取得したものであること。</li> </ul> </td> <td></td> </tr> </table>						<p>エラストマー EXP. J. C</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□JSSI(一社 日本免震構造協会)発行の「免震エキスパンションガイドライン」に規定されている振動台試験(速度100cm/s以上)において、A種の性能を有するものとする。</li> <li>□クリアランスに誤差が生じた場合においても、その誤差を吸収しかつ意匠性を確保し、可動性能を維持できるものとする。(±10mmの誤差を吸収できるものとする。)</li> <li>□エラストマー本体とフレームは嵌め合い方式とし可動時に外れないことを考慮したものであること。</li> <li>□エラストマー本体は、山・谷の形状みより、ストレートラインが保持でき、膨れ・脈打ちなどの現象が少ないこと。</li> <li>□ジョイント部においては、エラストマー本体の山・谷の連続性を確保するためのジョイント方法であること。</li> <li>□屋根エキスパンションジョイントの止水補助シートと外壁エラストマーEXP. J. Cの止水補助シートが連続した一体型止水構造であること。</li> <li>□天井、軒天などの水平面に対し加熱試験を行い熱伸びによる耐熱性能の検証しダレがなく元の形状に戻ることを確認されたものであること。</li> <li>□促進耐候性試験・温冷繰り返し試験・塩水噴霧複合サイクル試験・耐候性試験・耐オゾン試験を実施したものであること。</li> <li>□積載試験を実施し、強風に対してもその性能を保持できることを検証されたものとする。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>CL</td> <td>可動量 X + ***mm、- ***mm</td> </tr> <tr> <td>***mm</td> <td>可動量 Y + ***mm、- ***mm</td> </tr> </table>	CL	可動量 X + ***mm、- ***mm	***mm	可動量 Y + ***mm、- ***mm	<p>アルミ ステンレス EXP. J. C</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□屋根EXP. Jの可動フタは可動タイプとし、Y方向の可動にも追従できるものとする。</li> <li>□床のEXP. J. Cは集中荷重とし、指定された荷重条件を保持できるものとする。</li> <li>□耐火帯は日本エキスパンションジョイント工業会の適合証を取得したものであること。</li> </ul>	
<p>エラストマー EXP. J. C</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□JSSI(一社 日本免震構造協会)発行の「免震エキスパンションガイドライン」に規定されている振動台試験(速度100cm/s以上)において、A種の性能を有するものとする。</li> <li>□クリアランスに誤差が生じた場合においても、その誤差を吸収しかつ意匠性を確保し、可動性能を維持できるものとする。(±10mmの誤差を吸収できるものとする。)</li> <li>□エラストマー本体とフレームは嵌め合い方式とし可動時に外れないことを考慮したものであること。</li> <li>□エラストマー本体は、山・谷の形状みより、ストレートラインが保持でき、膨れ・脈打ちなどの現象が少ないこと。</li> <li>□ジョイント部においては、エラストマー本体の山・谷の連続性を確保するためのジョイント方法であること。</li> <li>□屋根エキスパンションジョイントの止水補助シートと外壁エラストマーEXP. J. Cの止水補助シートが連続した一体型止水構造であること。</li> <li>□天井、軒天などの水平面に対し加熱試験を行い熱伸びによる耐熱性能の検証しダレがなく元の形状に戻ることを確認されたものであること。</li> <li>□促進耐候性試験・温冷繰り返し試験・塩水噴霧複合サイクル試験・耐候性試験・耐オゾン試験を実施したものであること。</li> <li>□積載試験を実施し、強風に対してもその性能を保持できることを検証されたものとする。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>CL</td> <td>可動量 X + ***mm、- ***mm</td> </tr> <tr> <td>***mm</td> <td>可動量 Y + ***mm、- ***mm</td> </tr> </table>	CL	可動量 X + ***mm、- ***mm	***mm	可動量 Y + ***mm、- ***mm								
CL	可動量 X + ***mm、- ***mm												
***mm	可動量 Y + ***mm、- ***mm												
<p>アルミ ステンレス EXP. J. C</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□屋根EXP. Jの可動フタは可動タイプとし、Y方向の可動にも追従できるものとする。</li> <li>□床のEXP. J. Cは集中荷重とし、指定された荷重条件を保持できるものとする。</li> <li>□耐火帯は日本エキスパンションジョイント工業会の適合証を取得したものであること。</li> </ul>													

② **と** (***)	SL- ***	S=1: **	③ **と** (***)	SL- ***	S=1: **				
<table border="1"> <tr> <td>CL</td> <td>可動量 X + ***mm、- ***mm</td> </tr> <tr> <td>***mm</td> <td>可動量 Y + ***mm、- ***mm</td> </tr> </table>						CL	可動量 X + ***mm、- ***mm	***mm	可動量 Y + ***mm、- ***mm
CL	可動量 X + ***mm、- ***mm								
***mm	可動量 Y + ***mm、- ***mm								

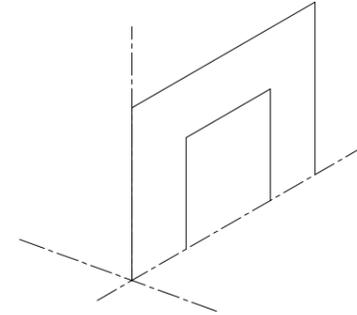
④ **と** (***)	SL- ***	S=1: **	⑤ **と** (***)	SL- ***	S=1: **				
<table border="1"> <tr> <td>CL</td> <td>可動量 X + ***mm、- ***mm</td> </tr> <tr> <td>***mm</td> <td>可動量 Y + ***mm、- ***mm</td> </tr> </table>						CL	可動量 X + ***mm、- ***mm	***mm	可動量 Y + ***mm、- ***mm
CL	可動量 X + ***mm、- ***mm								
***mm	可動量 Y + ***mm、- ***mm								

訂正年月日	概要	特記事項		作成	設計	担当	検印	工事名	縮尺	通し番号
				作成年月日	タイプ	図名	区分	図面番号	校の内	

製図: 2022.3.29 変更:

■耐震構造用 EXP. J. C 特記仕様

エラストマー EXP. J. C	<input type="checkbox"/> JSSI (一社 日本免震構造協会) 発行の「免震エキスパンションガイドライン」に規定されている振動台試験 (速度100cm/s以上) において、A種の性能を有するものとする。 <input type="checkbox"/> クリアランスに誤差が生じた場合においても、その誤差を吸収しかつ意匠性を確保し、可動性能を維持できるものとする。(±10mmの誤差を吸収できるものとする。) <input type="checkbox"/> エラストマー本体とフレームは嵌め合い方式とし可動時に外れないことを考慮したものであること。 <input type="checkbox"/> エラストマー本体は、山・谷の形状みより、ストレートラインが保持でき、膨れ・脈打ちなどの現象が少ないこと。 <input type="checkbox"/> ジョイント部においては、エラストマー本体の山・谷の連続性を確保するためのジョイント方法であること。 <input type="checkbox"/> 屋根エキスパンションジョイントの止水補助シートと外壁エラストマー-EXP. J. Cの止水補助シートが連続した一体型止水構造であること。 <input type="checkbox"/> 天井、軒天などの水平面に対し加熱試験を行い熱伸びによる耐熱性能の検証しダレがなく元の形状に戻ることを確認されたものであること。 <input type="checkbox"/> 促進耐熱性試験・温冷繰り返し試験・塩水噴霧複合サイクル試験・耐熱性試験・耐オゾン試験を実施したものであること。 <input type="checkbox"/> 積載試験を実施し、強風に対してもその性能を保持できることを検証されたものとする。
アルミ ステンレス EXP. J. C	<input type="checkbox"/> 屋根EXP. Jの可動フタは可動タイプとし、Y方向の可動にも追従できるものとする。 <input type="checkbox"/> 床のEXP. J. Cは集中荷重とし、指定された荷重条件を保持できるものとする。 <input type="checkbox"/> 耐火帯は日本エキスパンションジョイント工業会の適合証を取得したものである。



キープランに示した  
部位の番号を記入

記入例

型式タイプを記入

CL	可動量 X + 110mm, - 110mm 200mm 可動量 Y + 110mm, - 110mm
耐火仕様: 1時間遮炎性能適合品	

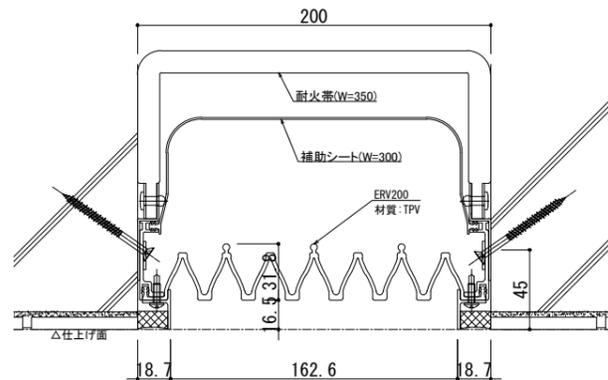
可動量を記入

クリアランスを記入

耐火仕様の場合、  
仕様を記入

材質を記入

部位を記入



CL	可動量 X + ***mm, - ***mm ***mm 可動量 Y + ***mm, - ***mm
----	--

材質を記入

訂正年月日	概要	特記事項

作成	設計	担当	検印	工事名	縮尺 A1 1:2 A3 1:4	通し番号 /
作成年月日	タイプ	図名	図面番号	校の内		